

資料No. 1

江田島市公共交通協議会
令和5年6月27日

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用した交通事業者 に対する支援事業について

1 趣旨

新型コロナウイルス感染症の影響による移動需要の減少やウクライナ情勢の影響による燃料価格等の高騰に伴い、経営状態がひっ迫している交通事業者を支援するため、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用した支援制度を継続して実施します。

2 支援事業

事業名	原油価格高騰対策緊急支援金（継続事業）
概要	原油価格の高騰に伴う経営への悪影響を軽減するため、交通事業者に対し、燃料単価高騰分の一部を支援します。
対象	・本市を発着点とする定期航路を運航する航路事業者 ・本市で定期路線を運行するバス事業者 ・本市に営業所を置くタクシー事業者
支援額	燃料単価の上昇率（R3.4→R5.4月）を基に算定した燃料高騰相当分（試算値）の1/2の額を支援します。
予算額	32,100千円

事業名	航路維持支援金（継続事業）
概要	乗降客数が減少している航路事業者に対し、支援金を交付することにより、航路の維持を図ります。
対象	・本市を発着点とする一般旅客定期航路を運航していること。 ・対象期間（R5.4～R6.3月）において、新型コロナウイルス感染症の影響前（H31.3～R2.2月）の同月と比較して、乗降客数が10%以上減少している月があること。 ・令和2年4月1日現在の便数を維持していること。 ただし、新型コロナウイルス感染症を原因としないダイヤ改正の場合は、同日現在の便数を維持しているものとみなす。
支援額	・本市と広島市の間を運航する航路 50万円/月 ・本市と呉市の間を運航する航路 30万円/月
予算額	26,400千円

3 令和4年度支援事業実績

事業名	内容	対象	実績額
原油価格高騰対策緊急支援金	交通事業者に対し、各種燃料単価高騰分の1/2を支援。（年2回実施）	13事業者	70,800千円
運航継続支援金	コロナ影響前の同月と比較して乗降客数が10%減少している月に対して定額を支援。	5航路	22,800千円
公共交通支援補助金	交通事業者の利用者回復事業やコロナ対策等へ支援。	9事業者	8,032千円